



## クイック スタート



# Cisco Digital Media Player 4400G 用 クイック スタート ガイド

- 1 パッケージの内容のチェック
- 2 DMP の設置に適した場所を探す
- 3 DHCP ネットワークへの参加
- 4 DMP ディスプレイへの接続
- 5 100 ~ 240V AC ソケットへの接続
- 6 LED のチェック
- 7 DMPDM へのログインとパスワードの変更
- 8 ビデオ出力の設定
- 9 集中管理のセットアップ
- 10 DMP のリモート コントローラについて
- 11 製品マニュアル、サポート、およびセキュリティ

## 改訂：2008年7月9日 78-19567-02

Adobe Systems, Inc. の Macromedia® Flash™ テクノロジーを搭載しています。Copyright 1995-2003 Adobe Systems, Inc. All Rights reserved. Macromedia, Flash, Macromedia Flash、および Macromedia Flash Lite は、米国およびその他の国における Adobe Systems, Inc. の商標または登録商標です。



187487



187675



### 注

---

サポートされる機能の情報については、Cisco.com にある「Release Notes for Cisco Digital Media System (Cisco Digital Media System のリリースノート)」を参照してください。

---

## 用語集

**Cisco Digital Media System** (Cisco DMS; Cisco デジタル メディア システム) は、このガイドで解説しているものを含む製品およびテクノロジー ファミリーです。

**Digital Media Player** (デジタル メディア プレーヤ、DMP) は頑丈で、IP アドレスを持つ小型ネットワーク デバイスであり、デジタル サイネージ コンテンツやエンタープライズ TV コンテンツを **DMP ディスプレイ** (視聴者に向けてメディアを表示する直結されたテレビ画面、その他のモニター、またはプロジェクタ) に配信します。ディスプレイはアナログ式またはデジタル式、標準解像度または高解像度を問いません。

**Digital Media Player Device Manager** (DMPDM; デジタル メディア プレーヤ デバイス マネージャ) は Web ベースのグラフィカル ユーザ インターフェイスであり、初期セットアップ段階で 1 台の DMP を設定し、1 台の DMP を管理し、1 台の DMP ディスプレイにメディアを表示する設定ができます。DMPDM は、その管理対象である DMP 上で動作します。

システム管理者、コンテンツ管理者、およびグラフィック デザイナーは **DMM-DSM** と呼ばれる **Digital Media Manager** (DMM; デジタル メディア マネージャ) ソフトウェア モジュールを使用して、DMP デバイスのネットワークを集中管理し、サイネージ用のアセットを整理およびひとまとめにし、レイアウトを設計し、メディアを DMP ディスプレイに配信します。別個にライセンスされる **DMM-ETV** ソフトウェア モジュールの機能は、IP ネットワーク上でビデオ オン デマンド (VOD) やライブなテレビ放送を配信したり、オンスクリーン電子番組ガイド (EPG) を設定したり、EPG データ プロバイダ サービスへの登録を管理したり、DMP のリモート コントローラをプログラムしたりするのに役立ちます。

## 詳細情報

DMS 製品、関連テクノロジー、および Cisco 全般について詳しく知るには、以下を参照してください。

解説	アクセス先
DMS の概要	<a href="http://www.cisco.com/go/dms">http://www.cisco.com/go/dms</a>
Cisco DMS 製品のリリース ノート	<a href="http://www.cisco.com/en/US/products/ps6681/prod_release_notes_list.html">http://www.cisco.com/en/US/products/ps6681/prod_release_notes_list.html</a>
Cisco DMS 製品のユーザ マニュアル	<a href="http://www.cisco.com/en/US/products/ps6681/products_documentation_roadmaps_list.html">http://www.cisco.com/en/US/products/ps6681/products_documentation_roadmaps_list.html</a>
FAQ とトラブルシューティング	<a href="http://www.cisco.com/en/US/products/ps6681/prod_troubleshooting_guides_list.html">http://www.cisco.com/en/US/products/ps6681/prod_troubleshooting_guides_list.html</a>
デジタル サイネージに関する Cisco アカデミー	<a href="http://www.cisco.com/go/dms/ads">http://www.cisco.com/go/dms/ads</a>
My Tech Support (registration required)	<a href="http://www.cisco.com/en/US/support/tsd_my_tech_support.html">http://www.cisco.com/en/US/support/tsd_my_tech_support.html</a>
Cisco Service Contract Center	<a href="http://www.cisco.com/web/partners/services/resources/cscc/index.html">http://www.cisco.com/web/partners/services/resources/cscc/index.html</a>
Cisco セキュリティアドバイザリ	<a href="http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_advisories_listing.html">http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_advisories_listing.html</a>

# 1 パッケージの内容のチェック

1 台の DMP 4400G の製品パッケージには、次のものがすべて含まれています。

- 重要な法的情報が記載された購入証明書 ( 保管してください ) 。
- このクイック スタート ガイドとその他の製品マニュアル。
- DMP 4400G 1 台。
- AC アダプタ ( 12V、3A ) 1 個。
- 電源コード 1 本。
- 赤外線 (IR) 延長ケーブル 1 本。
- アンテナ 1 本。
- 信号ケーブル 3 本。
  - HDMI ( バージョン 1.1 ) 。
  - コンポジット /RCA ( ビデオ ) 。
  - コンポジット /RCA ( 音声—3mm ジャック、赤色と白色の RCA プラグ ) 。

いずれかがパッケージに含まれていなかったり不具合があると思われる場合は、Cisco Technical Assistance Center (TAC) に連絡してください。

## 2 DMP の設置に適した場所を探す

DMP の設置場所は、当該地域の標準電圧 (100 ~ 240V) が使用されている AC コンセント (ソケット) から 6 フィート (1.8m) 以内です。各種のビデオ ケーブルに関してサポートされる長さについては、8 ページの「DMP ディスプレイへの接続」セクションを参照してください。

### 環境の許容範囲

DMP 4400G は屋内使用を前提にしています。

温度 <sup>1</sup>	米国慣用単位		メートル法単位	
	最低	最高	最低	最高
動作時 — 長期または短期	41°F	104°F	5°C	40°C
非動作時 または保管時	-4°F	140°F	-20°C	60°C
相対湿度 <sup>2</sup>	最低		最高	
動作時、非動作時、および保管時	20 パーセント		85 パーセント	
高度 <sup>3</sup>	最低	最高	最低	最高
動作時、非動作時、および保管時	0 フィート	13,780 フィート	0 メートル	4,200 メートル

1. 周辺温度。
2. 結露しないこと。周辺湿度。
3. 海拔。

### 3 DHCP ネットワークへの参加

DMP 4400G の工場出荷時の設定では、自動的に DHCP サーバから IP アドレスが取得されます。DHCP サーバがない場所に DMP を配置する場合は、Cisco.com にある『User Guide for Cisco Digital Media Player Device Manager 5.0 (Cisco Digital Media Player Device Manager 5.0 用ユーザガイド)』を参照して、静的な IP アドレスを使用するように DMP を設定する方法を確認してください。



#### ヒント

---

ネットワーク セキュリティ ポリシーによって、DHCP アドレス割り当てが既知の MAC アドレスのネットワーク インターフェイス カードのみに制限されている場合、DMP シャーシの底面に貼られたステッカーに記されている MAC アドレスをセキュリティ ポリシー管理者に知らせてください。

---

---

**ステップ 1** DMP シャーシの背面にあるイーサネット 10/100 ポートに、汎用イーサネット ケーブルを差し込みます。

**ステップ 2** DHCP ネットワークに参加するネットワーク ハブ、ネットワーク スイッチ、またはルータにイーサネット ケーブルのもう一方の端を差し込みます。

---

## 4 DMP ディスプレイへの接続

アナログ ディスプレイではなくデジタル ディスプレイを使用することをお勧めします。デジタルディスプレイのタイプに関しては、プラズマではなく LCD をお勧めします。

デジタル サイネージでは、フルモーションビデオよりも静止画像が多用されます。ほとんどの場合、コンテンツは Web ベースであるか Flash でアニメーション化されています。これらのメディアタイプの性質上、デジタルサイネージ内の一部のピクセルは頻繁に更新されません。LCD はプラズマディスプレイよりも焼き付きを起こしにくいので、デジタルサイネージに関しては LCD ディスプレイの方が良い選択となります。

LCD ディスプレイでは残像が問題になることがあります。それはほとんど常に自動修正され、製造元のガイドラインに従ってディスプレイを正しく管理すれば発生しにくくなります。

該当するすべての国際規格に準拠している限り、任意の製造元のディスプレイを使用できます。LCD ディスプレイの製造元として NEC を希望されている場合は、以下の NEC モデルをお勧めします。

- 32 インチ — MultiSync® LCD3210
- 40 インチ — 次のいずれか
  - MultiSync® LCD4010
  - MultiSync® LCD4020
- 46 インチ — MultiSync® LCD4610
- 57 インチ — MultiSync® LCD5710

ビデオ ケーブルに関してサポートされる最大長さは

- 10 フィート (3m)—コンポジット /RCA と S-Video
- 16 フィート (4.8m)—HDMI

DMP にデジタル ディスプレイを接続するには、同梱の HDMI ケーブルをビデオおよび音声用に使用することをお勧めします。ただし、推奨されている NEC ディスプレイ モデルを DMP に接続するには、ビデオ用に HDMI ケーブルと HDMI-DVI アダプタを組み合わせ、音声用に同梱のコンポジット /RCA オーディオ ケーブルを使用する必要があります。唯一の例外は NEC MultiSync® LCD4020 であり、ビデオと音声の両方に関して HDMI をサポートしています。

DMP にアナログ ディスプレイを接続するには、ビデオと音声の両方に関して同梱のコンポジット /RCA ケーブルを使用することをお勧めします。

---

**ステップ 1** DMP シャーシの背面で、以下のいずれかの手順を実行します。

- HDMI インターフェイスを持つデジタルディスプレイに DMP を接続する場合は、DMP の HDMI インターフェイスに HDMI ケーブルのオス端を差し込みます。

- HDMI インターフェイスを持たない推奨 NEC ディスプレイ モデル ( または別の製造元の類似ディスプレイ ) に DMP を接続する場合は、次の手順をすべて実行します。
  - DMP の HDMI インターフェイスに HDMI ケーブルのオス端を差し込み、HDMI ケーブルの他端に HDMI-DVI アダプタを接続します。
  - DMP の AUDIO インターフェイスに RCA オーディオ ケーブルの 3mm ジャックを差し込みます。
- アナログ ディスプレイに DMP を接続する場合は、次の手順をすべて実行します。
  - DMP の CVBS インターフェイスに RCA ビデオ ケーブルの黄色ジャックを差し込みます。
  - DMP の AUDIO インターフェイスに RCA オーディオ ケーブルの 3mm ジャックを差し込みます。

**ステップ 2** ケーブルの他端を、DMP ディスプレイの対応するインターフェイスに接続します。

**ステップ 3** DMP ディスプレイがまだオンになっていない場合は、ここでオンにします。

---

## 5 100 ~ 240V AC ソケットへの接続



### 警告

---

同梱の電源ケーブルとアダプタのみを使用してください。

---

- 
- ステップ 1** DMP の電源ケーブルを AC アダプタに接続します。
- ステップ 2** DMP シャーシの 12V DC 電源に DC バレル コネクタを接続します。
- ステップ 3** 接地されていることが分かっている、当該地域における正しい電圧が使用されている AC コンセントに接続します。サポートされている電圧は 100 ~ 240V です。

DMP を電気サージから守るため、信頼できる製造元のサージ保護装置または無停電電源装置を使用することをお勧めします。

---

## 6 LED のチェック

DMP シャーシには緑色と赤色の LED が付いています。DMP を AC 電源に接続した後、両 LED の光が DMP のフロント グリルを通して見えます。

LED は DMP の電源が供給されているかどうか、および IP アドレスが取得されているかどうかを知らせます。

- 緑色の LED の連続点灯は、電源が供給されていることを示します。
- 赤色の LED の連続点灯は、DMP が IP アドレスの取得を試みていることを示します。DMP が IP アドレスを取得した後、赤色の LED が消灯します。

赤外線信号の干渉を受けない限り、LED が点滅することはありません。

## 7 DMPDM へのログインとパスワードの変更

---

**ステップ 1** DMP ディスプレイに Cisco ロゴと DMP の IP アドレスが表示されたら、IP アドレスを書き留めます。





## ヒント

---

以後、このスプラッシュ画面が工場出荷時の設定 (30 秒間) より短くまたは長く表示されるように再設定するには、**Settings (設定) > Browser (ブラウザ)** を選択し、**Splash Screen Display Time (in milliseconds) (スプラッシュ画面の表示時間 (ミリ秒))** フィールドに新しい持続時間をミリ秒単位で入力し、**Apply (適用)** をクリックします。次に、**Administration (管理) > Save Configuration (設定の保存)** を選択し、**Save (保存)** をクリックします。

---

**ステップ 2** ブラウザから、書き留めておいた IP アドレスにアクセスします。

**ステップ 3** DMPDM のログインプロンプトで、"DMP Web アカウント" ユーザとしてログインするには、ユーザ名 **admin** とパスワード **default** を入力します。



## 注意

---

次の両方に関して工場出荷時のパスワードを DMPDM で変更しないと、ネットワークのセキュリティが損なわれる可能性があります。

- DMP Web アカウント ユーザ。
- DMP サービス アカウント ユーザ。

この脆弱性からネットワークを保護するには、この手順の残りを実行する**必要があります**。

---

わずかな台数の DMP を個別に管理する場合は、それぞれの DMP Web アカウントおよび DMP サービス アカウントのパスワードを DMPDM で手動で変更できます。

DMPDM にログインするときは、Web サービス アカウントを使用します。DMP サービス アカウントは、FTP ログイン権限を持つユーザ アカウントです。DMP サービス アカウントを使用できるのは、DMP 上で FTP サービスが有効になっているときだけです。

多数の DMP を集中管理する場合は、DMM アプライアンスのフルライセンスされた DMM-DSM ソフトウェアを使用して、DMP グループに追加されたすべての DMP に対してグローバルに両パスワードを変更できます。ただし、このようにして DMM-DSM を使用する前に、集中管理される DMP ごとに [23 ページの「集中管理のセットアップ」セクション](#)を実行する必要があります。



## 注

---

DMM-DSM を使用して DMP 上のパスワードを変更するときは、DMM-DSM に入力するテキスト文字列が URI エンコーディングの正しい構文に従う必要があります。文字列を登録するための URI エンコーディングの構文では、クエリー可能なオブジェクトの値にスペースを含める必要があるときには、スペースの代わりにプラス記号 (+) を入力する必要があります。たとえば、クエリー可能なオブジェクトが "user" でその値が "John Smith" である場合は、文字列内に「user=John+Smith」と入力します。文字列内の値に実際のプラス記号を含める必要がある場合は、プラス記号を「%2B」と明示的にエンコードする必要があります。

感嘆符 (!)、疑問符 (?)、アンパーサンド (&)、およびアスタリスク (\*) を値に含めることは禁止されています。

クエリー文字列を登録するための URI エンコーディングとその推奨構文については、<http://tools.ietf.org/html/rfc1630> にある RFC 1630 を参照してください。

---

**ステップ 4** DMPDPM を使用して 1 台の DMP 上の DMP Web アカウント パスワードを変更するには、**Administration ( 管理 ) > DMP Web Account (DMP Web アカウント)** を選択します。Password (パスワード) フィールドに新しいパスワードを入力し、Repeat Password (パスワードの再入力) フィールドにもう一度入力し、**Apply ( 適用 )** をクリックします。次に、**Administration ( 管理 ) > Save Configuration ( 設定の保存 )** を選択し、**Save ( 保存 )** をクリックします。

DMM-DSM を使用して、デジタル サイネージ ネットワーク内の複数の DMP 上のパスワードを同時に変更することもできます。

- a. **Digital Media Players (Digital Media Player) > Advanced Tasks ( 高度なタスク ) > System Tasks ( システム タスク )** を選択し、空白ページのアイコンをクリックして新しいシステムタスクを作成します。

- b. 新しいタスクの名前と説明を入力し、Request Type ( 要求タイプ ) リストから Set ( 設定 ) を選択します。
- c. Request ( 要求 ) テキスト ボックスで、URI エンコーディングの正しい構文を使用して「`mibifc.user=admin&mibifc.password=new_password&mib.save=1`」と入力します。ここで `new_password` は、DMP Web アカウント ユーザに割り当てたパスワードです。
- d. タスクを保存して利用できるようにするには、Submit ( 送信 ) をクリックします。
- e. パスワード変更指示をデジタル サイネージ ネットワーク内の複数の DMP に同時に送るには、次の手順を実行します。
  - Schedules ( スケジュール ) > Play Now ( 今すぐ再生 ) を選択します ( DMM-DSM 4.1.x のユーザは、Schedules ( スケジュール ) > Immediate Deployment ( 直ちに配置 ) を選択します )。
  - DMP Groups ( DMP グループ ) オブジェクト セレクタからグループを選択します。
  - DMP Web アカウント パスワードを変更する各 DMP のチェック ボックスを選択します。

- Select an Event Type ( イベント タイプの選択 ) リストから、ステップ 4b で名前を付けたシステム タスクを選択します (DMM-DSM 4.1.x のユーザは、Actions ( アクション ) リストからこのタスクを選択します)。
- Submit ( 送信 ) をクリックします (DMM-DSM 4.1.x のユーザは、Go ( 実行 ) をクリックします)。



## 注

---

この手順におけるオプションのステップ 4 を実行した場合は、先立って 23 ページの「集中管理のセットアップ」セクションを実行しているはずで  
す。ただし、この手順のステップ 4 を実行して認  
証情報を変更したため、信頼された DMM アプ  
ライアンスが一時的に DMP と通信できなくな  
ります。正常な通信を回復するには、ここで 23 ペ  
ージの「集中管理のセットアップ」セクション  
のステップ 3 を再実行する必要があります。

---

**ステップ 5** DMPDM を使用して 1 台の DMP 上の DMP サービス アカウント パスワードを変更するには、**Administration ( 管理 ) > DMP Service Account (DMP サービス アカウント)** を選択します。Password ( パスワード ) フィールドに新しいパスワードを入力し、Repeat Password ( パスワードの再入力 ) フィールドにもう一度入力し、**Apply ( 適用 )** をクリックします。次に、**Administration ( 管理 ) > Save Configuration ( 設定の保存 )** を選択し、**Save ( 保存 )** をクリックします。

DMM-DSM を使用して、デジタル サイネージ ネットワーク内の複数の DMP 上のパスワードを 同時に変更することもできます。

- a. **Digital Media Players (Digital Media Player) > Advanced Tasks (高度なタスク) > System Tasks (システム タスク)** を選択し、空白ページのアイコンをクリックして新しいシステム タスクを作成します。
- b. 新しいタスクの名前と説明を入力し、**Request Type (要求タイプ)** リストから **Set (設定)** を選択します。
- c. **Request (要求)** テキスト ボックスで、URI エンコーディングの正しい構文を使用して「**init.FTP\_password=new\_password&mib.save=1**」と入力します。ここで *new\_password* は、DMP サービス アカウント ユーザに割り当てるパスワードです。
- d. タスクを保存して利用できるようにするには、**Submit (送信)** をクリックします。

- e. パスワード変更指示をデジタル サイネージ ネットワーク内の複数の DMP に同時に送るには、次の手順を実行します。
- **Schedules (スケジュール) > Play Now (今すぐ再生)** を選択します (DMM-DSM 4.1.x のユーザは、**Schedules (スケジュール) > Immediate Deployment (直ちに配置)** を選択します)。
  - **DMP Groups (DMP グループ)** オブジェクト セレクトタからグループを選択します。
  - DMP サービス アカウント パスワードを変更する各 DMP のチェック ボックスを選択します。
  - **Select an Event Type (イベント タイプの選択)** リストから、ステップ 5b で名前を付けたシステム タスクを選択します (DMM-DSM 4.1.x のユーザは、**Actions (アクション)** リストからこのタスクを選択します)。
  - **Submit (送信)** をクリックします (DMM-DSM 4.1.x のユーザは、**Go (実行)** をクリックします)。
-

## 8 ビデオ出力の設定

**ステップ 1** Settings (設定) エリアで、**DMP Display Attributes (DMP ディスプレイの特性)** をクリックします。

ディスプレイ自動検出機能はデフォルトで有効になります。DMPDM によって自動的に行われた選択と入力のみでよい場合は、このセクションはもう完了しているため、[23 ページの「集中管理のセットアップ」セクション](#)に移ることができます。

変更する場合は、次の手順を実行します。

- a. **DMP Display Autodetection (requires HDMI)** (DMP ディスプレイの自動検出 (HDMIが必要)) リストから、**Disable (無効)** を選択します。
- b. **Display Standard (ディスプレイ規格)** リストから、当該国で採用されている規格を選択します。たとえば、工場出荷時の選択は **NTSC\_M** ですが、国によっては **PAL** が使用されます。
- c. **Interface (DMP display output) (インターフェイス (DMP ディスプレイ出力))** リストから、使用するコネクタタイプと信号タイプを選択します。たとえば、**SVIDEO** を使用します。

選択するオプションが分からない場合は、ご使用の DMP ディスプレイに関する製造元のマニュアルを参照してください。

- ステップ 2** Color Space (色空間) リストから、DMP ディスプレイに使用する絶対色空間を選択します。
- ステップ 3** 色空間として RGB を選択した場合は、Color Component Order (色成分の順番) リストからオプションを選択して、赤、緑、および青のデータを格納する順番を定義します。この定義は、left-to-right 型の加法混色モデルと呼ばれることがあります。
- ステップ 4** (オプション) いずれかまたはすべてのスライダを動かして、ビデオ (輝度、コントラスト、彩度) や音声 (チャンネル音量) における DMP ディスプレイの不足を補います。
- ステップ 5** 選択内容を変更するまでまたは DMP を再起動するまで、変更内容を確認および反映するには、Apply (適用) をクリックします。
- ステップ 6** 使用している DMP ディスプレイに選択内容が合っているかどうかをテストするには、DMP Mode (DMP モード) エリアで Show IP (IP を表示) をクリックします。
- DMP ディスプレイに Cisco ロゴが表示され、DMP の IP アドレスが表示されます。
- ステップ 7** DMP を再起動した後も設定変更を持続させるには、次の手順を実行します。
- Administration (管理) > Save Configuration (設定の保存) を選択します。
  - Save Configuration (設定の保存) ページで、Save (保存) をクリックします。
-

## 9 集中管理のセットアップ

DMP をデジタル サイネージ ネットワークの要素として集中管理する場合は、DMPDM と DMM-DSM を互いに連係するように設定する必要があります。



### 注意

---

信頼されない DMM アプライアンスに DMP がコントロールされることを阻止するには、ネットワーク ファイアウォールを設定して、TCP ポート 7777 経由で DMP に着信トラフィックを送るデバイスを限定する必要があります。アクセス制御リストの扱い方が分からない場合は、ファイアウォールに関する製造元のマニュアルを参照してください。

---

**ステップ 1** DMPDM で、信頼する 1 台の DMM アプライアンスを指定します。

- a. **Settings (設定) > Centralized Management (集中管理)** を選択します。
- b. **DMM-DSM Server Timeout (in seconds) (DMM-DSM サーバ タイムアウト (秒))** フィールドに、DMP が信頼される DMM アプライアンス (DMM-DSM を提供する機器) からの応答を待つ最大秒数を入力します。

- c. **DMM Appliance IP Address (DMM アプライアンスの IP アドレス)** フィールドに、信頼される DMM アプライアンスのルーティング可能な IP アドレスまたは DNS 解決可能なホスト名を入力します。

DMM-DSM を使用して新しい DMP を自動探索した場合は、**DMM Appliance IP Address (DMM アプライアンスの IP アドレス)** フィールドには DMM アプライアンスの正しい IP アドレスが入力済みです。

- d. 選択内容を変更するまでまたは DMP を再起動するまで、変更内容を確認および反映するには、**Apply (適用)** をクリックします。
- e. DMP を再起動した後もこれらの設定変更を持続させるには、次の手順を実行します。
- **Administration (管理) > Save Configuration (設定の保存)** を選択します。
  - **Save Configuration (設定の保存)** ページで、**Save (保存)** をクリックします。



## 注

---

集中管理が有効になっているとき、DMM-DSM と DMP は TCP ポート 7777 経由で通信します。

---

**ステップ 2** デジタル サイネージ ネットワーク内の集中管理される DMP が、すべて次のものを共有していることを確認します。

- DMP Web アカウントに関する同一のユーザ認証情報。
- DMP サービス アカウントに関する同一のユーザ認証情報。

これらの認証情報を同一にする方法については、[13 ページの「DMPDM へのログインとパスワードの変更」セクション](#)を参照してください。

**ステップ 3** DMM-DSM で、集中管理される DMP の正しいユーザ認証情報を指定します。

- a. **Settings ( 設定 ) > Server Settings ( サーバ設定 )** を選択します。
- b. 必須の値を入力します。
  - **Servlet Server Address ( サーブレット サーバのアドレス )**—DMM-DSM を提供している機器の DNS 解決可能なホスト名とドメイン (**dmm.example.com** など) をまだ入力していない場合は、ここで入力します。

- **DMP User Name (DMP ユーザ名)**—  
「admin」と入力します。または、DMP Web アカウント ユーザ名をデフォルト値から変更した場合は、割り当てた新しいユーザ名を入力します。
  - **DMP User Password (DMP ユーザ パスワード)**—ユーザ名に対応したパスワードを入力します。
- c. **Save (保存)** をクリックします。



## 注

---

後で DMM-DSM のシステム タスクを使用して DMP の認証情報を変更する場合は (13 ページの「DMPDM へのログインとパスワードの変更」セクションを参照)、この Server Settings (サーバ設定) ページに戻り、値を更新して DMP の新しい認証情報と一致させる必要があります。この情報を更新しない場合、DMM-DSM は DMP との通信を試みる際に古い認証情報を使用し、通信に失敗したときに DMP がアクセス不能で管理不能であると見なします。

---

## 10 DMPのリモートコントローラについて

リモートコントローラの機能を利用するには、DMPがファームウェアリリース 5.0 以降を使用し、DMM アブライアンスが DMM ソフトウェア リリース 5.0 以降を使用している必要があります。

DMP の製品キットには、『Cisco Digital Media Player 用リモートコントローラ クイック スタート ガイド』の冊子が付属しています。このガイドは Cisco.com 上で読むこともできます。

## 11 製品マニュアル、サポート、およびセキュリティ

マニュアルの入手、サポートの入手、マニュアルのフィードバック、セキュリティガイドライン、さらには推奨される通称と Cisco マニュアル全般については、次のページにある毎月公開される「What's New in Cisco Product Documentation (Cisco 製品マニュアルの最新情報)」を参照してください(ここには、すべての新規および改訂された Cisco 技術ドキュメントもリストされています)。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>



Americas Headquarters  
Cisco Systems, Inc.  
San Jose, CA

Asia Pacific Headquarters  
Cisco Systems (USA) Pte. Ltd.  
Singapore

Europe Headquarters  
Cisco Systems International BV  
Amsterdam, The Netherlands

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses, phone numbers, and fax numbers are listed on the Cisco Website at [www.cisco.com/go/offices](http://www.cisco.com/go/offices).

CCDE, CCENT, Cisco Eos, Cisco Lumin, Cisco Nexus, Cisco StadiumVision, Cisco TelePresence, the Cisco logo, DCE, and Welcome to the Human Network are trademarks; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn and Cisco Store are service marks; and Access Registrar, Aironet, AsyncOS, Bringing the Meeting To You, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, CCVP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Collaboration Without Limitation, EtherFast, EtherSwitch, Event Center, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, iQuick Study, IronPort, the IronPort logo, LightStream, Linksys, MediaTone, MeetingPlace, MeetingPlace Chime Sound, MGX, Networkers, Networking Academy, Network Registrar, PCNow, PIX, PowerPanels, ProConnect, ScriptShare, SenderBase, SMARTnet, Spectrum Expert, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, TransPath, WebEx, and the WebEx logo are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0807R)

© 2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Printed in Taiwan